



■昭和56年8月26日第三種郵便物認可 ■平成19年6月10日発行(毎月1回10日発行)

函館商工会議所報

ともし

2007

6

No.296



函館市街景 昭和初期の頃

CONTENTS

巻頭特集

函館市臨海研究所

- ◆ミニ経済情報はこたて2007発刊 P10
- ◆生命共済制度ご案内 P14



Consulate Bridal

宗教によらない自由な形の結婚式です。
函館市旧イギリス領事館で交わす
調印式をイメージするお二人の将来を約束する誓いは、
きっとドラマチックな思い出となることでしょう。



おふたりにいちばん近い方々に囲まれながら、領事館を訪れる方々の賑わいのなかで、出発を祝うコンサレートウェディング。

外国旅行での経験や映画のシーンを思い出すチョットおしゃれなウェディングセレモニーです。



挙式後のご会食は館内レストランで…。



ガーデンでの挙式(5月~10月上旬)

館内での挙式(10月~12月、1月~4月)

コンサレートウェディングプラン

¥150,000(税込)

(挙式料・衣裳・美容・着付・写真)

領事館結婚式

函館市旧イギリス領事館

Old British Consulate of Hakodate

函館市元町33番14号

TEL.0138 (27) 8169 (ブライダル直通)

ともえ

6月号
(通巻296号)

特集

2 函館市臨海研究所

会議所の動き

7 小・中・高校へはこだて検定テキスト寄贈
部会・委員会報告
合同企業説明会開催
議員会・女性会・青年部活動

中小企業相談所だより

9 マル経資金制度ご案内
経営安定セミナーご案内
各種専門相談ご案内

6月・7月スケジュール・おしらせ

11 ミニ経済情報はこだて2007発刊
はこだて検定改訂発刊
貸会議室ご案内

ご案内

12 新入会員ご紹介
会員異動のお知らせ

街の元気・情報交差点

13 函館山・立待岬交通規制情報
7月期パソコン講座ご案内

事業紹介

14 生命共済制度ご案内

コンベンション情報

15 観光コンベンション情報

函館こぼれ話

16 未完に終わった「戸井線」

◆今月の表紙「湯の川地区根崎温泉街」

写真は、昭和10年の湯の川地区、根崎温泉街の一葉です。

湯の川と根崎（松倉川）を繋ぐ旧汐見橋は、当時、現在の根崎海岸海水浴場の駐車場あたりから橋が架かっており、多くの災害等により何度も崩壊し、現在の場所になったようです。

ちなみに当時は、この地域周辺に50件を超える旅館が立ち並んでいました。

(函館市中央図書館所蔵)



視点

先日、昭和50年渡島管内南茅部町(現函館市南茅部地区)で農作業中の主婦小坂アエさんの手で偶然発見された国指定重要文化財中空土偶が、このほど北海道で初めての国宝(考古資料)に指定されることが決定したと報道された。

考古資料では全国で42件目、縄文関係では3件目である。この報道で驚いたのは、北海道で最初の国宝指定、つまり北海道には国宝がなかったという事実である。

国宝は、有形文化財に限られ、これまで1,073件指定されており、京都、奈良などの古都の寺院、神社を中心とする建造物、絵画、彫刻(仏像含む)、工芸品等が指定されている。函館市の中空土偶は1,074番目の指定となる。

また、国宝は有形文化財に限られるため、貝塚や古墳、城跡、庭園などで国宝に相当するものは「特別史跡」「特別名勝」「特別天然記念物」と称される。かの有名な高松塚古墳は特別史跡であり、中の壁画が国宝に指定されている。

函館には、もう一つ国宝同等の「特別史跡五稜郭跡」がある。

今回の指定で函館は国宝と特別史跡を持つ街となったわけである。

市は平成21年を目途に土偶が発見された南茅部地区に「縄文文化交流センター」を開設する方針と聞く。

また、将来構想として、青森の三内丸山遺跡をはじめとする北東北地区の縄文遺跡群と南茅部地区の大船遺跡など道南の遺跡群をユネスコの世界遺産に登録しようとの動きがあるようであり、夢は果てしなく広がる。

中空土偶(北のビーナスと称される)は、7月1日から8月19日まで、函館市青柳町の市立函館博物館で展示公開されるので、この機会に、北のビーナスに会うことをおすすめします。

特集

函館市臨海研究所 今年4月にオープン!!



▲整備後の函館市臨海研究所



▲整備前の同施設

函館市臨海研究所が今年4月にオープンしました。

この施設は、函館市の景観形成建築物等に指定されている「旧函館西警察署庁舎」を外観デザインをそのままに、内部を水産・海洋関連産業の技術の高度化や水産振興に貢献する開放型の研究施設として整備されたもので、市が掲げる「函館国際水産・海洋都市構想」のキーワードのひとつである「レトロ&フューチャー」を具現化したものです。開館時間中は、一般の方々も館内を見学することができます。

○函館国際水産・海洋都市構想とは

函館は、性質の異なった海流が流れ込む豊かな漁場を持った地域であるとともに、北海道大学大学院水産科学研究院をはじめとする特色ある学術研究機関や、水産・海洋関連産業が集積しています。

「函館国際水産・海洋都市構想」は、このような地域の特性・優位性の活用と産学官の連携により、「国際的な水産・海洋に関する学術研究拠点都市」の形成を目指すものです。

構想の推進により、新たな技術・産業の創出や観光と学術研究の融合、水産・海洋と市民生活の調和などを図ります。

【施設のご紹介】



▲研究の様子を見学することができます。

★研究室

民間企業等が水産・海洋に関する研究を行っています。ガラス越しに研究の様子を見学することができるほか、大型ディスプレイにより現在取り組んでいる研究内容を紹介しています。

大型ディスプレイの設置には、日本馬主協会連合会から助成金をいただいています。

★会議室

会議や打合せなどに利用できます。

使用料（1時間あたり）

大会議室（16人程度）350円・中会議室（12人程度）250円・小会議室（8人程度）150円

会議室は、休館日を除き午前9時から午後5時までどなたでもご利用できます。

ご利用にあたってはお申込みが必要となります。詳しくは、函館市臨海研究所へお問い合わせください。

★交流ホール・多目的展示ホール

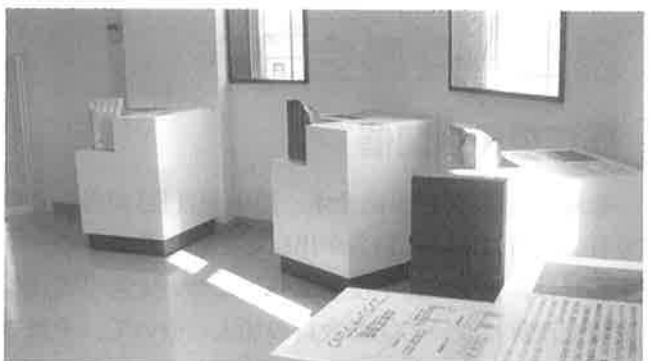
水産・海洋に関する地域の取り組みなどを紹介しています。打合せのほか、パネル展示などさまざまな形でご利用いただけます。



★まちかどデジタル水族館 函館周辺の海の生き物の映像を放映しています。



★メモリアルホール 旧函館西警察署庁舎の歴史に関する展示を行っています。



○交通アクセス

市電大町電停より徒歩1分

○函館市臨海研究所

開館時間 午前9時～午後5時

休館日 土曜日・日曜日・国民の祝日および12月31日～1月5日

住所 〒040-0052 函館市大町13番1号

電話 0138-27-7301・FAX 0138-27-7302

E-mail marine@city.hakodate.hokkaido.jp

会議所の うごき

小学校・中学校・高校へ はこだて検定テキスト寄贈



▲柳沢副会頭より、テキストを受け取る多賀谷教育長

函館の未来を担う児童、生徒に郷土函館への愛着と誇りを再認識してもらおうと、本所が発行した「はこだて検定公式テキストブック2007改訂版」の寄贈式が去る5月29日、函館市役所において行われました。

本所柳沢副会頭から「古里を愛し、歴史を愛する教育に役立ててほしい」と、テキスト160冊が多賀谷教育長へ手渡され、市教育委員会を通じ函館市立の小・中・高等学校へ配布されます。

なお、本所では市立学校以外の学校等についても寄贈を行います。

部会・委員会報告

総務委員会開催

総務委員会(泉担当副会頭、田中委員長)が去る6月5日、本所において15名が出席し開催されました。

当日は、①平成18年度事業報告について②平成18年度収支決算について③新会員の加入について、それぞれ協議を行い、昨年度重点的に行った主要事業とともに「全国商工会議所観光振興大会2006 in はこだて」や函館歴史文化観光検定(はこだて検定)等についても報告がなされ、いずれも原案のとおり承認され、6月13日の常議員会並びに6月19日の通常議員総会に議案として提出することを決めました。



▲冒頭、挨拶を行う田中委員長

合同企業説明会開催

本所と函館地方法人会の共催による、2007合同企業説明会が去る5月16日、函館ハーバービューホテルにおいて開催されました。

同説明会は、毎年この時期に来春卒業見込みの大学・短大・専門学校 of 学生とUターン就職希望者を対象に行っているもので、この日参加した学生・社会人は市内はもとより、道内各地や東北・首都圏大学・短大、専門学校などから212人が来場しました。会場内ではスーツや制服に身を包んだ若者が希望企業のブースを巡りながら採用担当者の説明に真剣な表情で対応する姿が見られ、熱気あふれる説明会となりました。



▲各企業説明を真剣に聞き入る参加学生▼



第38回箱館五稜郭祭開催

去る5月19日・20日の両日、第38回箱館五稜郭祭が開催されました。

19日には箱館戦争ゆかりの地である中島三郎助父子最後の地碑、碧血碑、土方歳三最期の地碑において祭文の奏上、献花などによる碑前祭が行われました。

その後、五稜郭タワーアトリウムにおいて記念式典と引き続き第20回目となる土方歳三コンテスト全国大会2007が開催され、函館市の阿部裕太さんが優勝し、賞金10万円と記念品が授与されました。

また、20日に開催された吹奏楽パレード・維新行列は、天候にも恵まれ、沿道には市民・観光客など大勢の観客が時代衣裳をまとった歴史絵巻の再現と迫力満点の戦闘シーンに大きな声援を送っていました。



▲土方コンテストで見事優勝を飾った阿部さん(写真前列左より3人目)



▲多くの沿道の人々を魅了した戦闘シーン

全道専務理事会議開催

北海道商工会議所連合会(道商連)運営委員会正副会長会議並びに全道商工会議所専務理事会議が去る5月23日、札幌市において開催されました。

当日は、協議事項として「第57回全道商工会議所大会について」「次回全道商工会議所大会開催地について」「道商連表彰規程に基づく平成19年度表彰について」などについて協議し、第57回全道商工会議所大会は来る7月6日、札幌市で開催することを決定しました。

なお、各地から提案事項として提出された議案・特別議案については、全道商工会議所大会での提案事項として協議されます。

会議所のうごき

北海道新幹線建設促進 道南地方期成会総会

北海道新幹線建設促進道南地方期成会（会長高野会頭）の平成19年度総会が去る5月25日、函館国際ホテルにおいて開催されました。

総会では、高野会頭より会長挨拶のあと、平成18年度事業報告・収支決算報告、平成19年度事業計画・収支予算について審議され、いずれも原案どおり承認されました。

北海道新幹線は、東北、北関東、首都圏との文化・経済交流の促進や新産業の創出等、様々な産業分野へ大きな波及効果をもたらし、北海道の活性化に極めて大きな役割を果たすことから、期成会では引き続き、新青森・新函館間の早期開業、新函館・札幌間の全線フル規格での一日も早い認可・着工と早期完成、公共事業費の重点配分などによる建設財源の確保及び地域負担に対する財源措置の充実・強化などについて強力に要望していくことを確認しました。



▲冒頭、会長挨拶を行う高野期成会会長

函館経営者協会定時総会

函館経営者協会（本所事務局）の平成19年度定時総会が去る5月18日、ホテル函館ロイヤルにおいて、加藤会長をはじめ13名の会員が出席し開催されました。

当日は、「平成18年度事業報告並びに収支決算について」及び「平成19年度事業計画（案）並びに収支予算（案）について」それぞれ審議が行われ、いずれも出席者満場一致で承認されました。

また、総会終了後、(株)函館国際貿易センター代表取締役専務の山本博志氏を講師に迎え、「サハリンプロジェクトの現状と今後の展開」と題した講演会が行われ、日頃、詳細な情報入手が難しい同プロジェクトの進捗状況等の説明に、参加者全員が熱心に聞き入っていました。



▲開会挨拶を行う加藤会長

函館国際水産・海洋都市構想総会

函館国際水産・海洋都市構想推進協議会（会長高野会頭）の平成19年度総会が去る5月31日、ホテル函館ロイヤルにおいて市、北大水産学部など関係者50名が出席し開催されました。

これまで同協議会では、同構想を具体化するため、昨年度より設立検討委員会を設けて組織運営等の協議を行い、推進機構の設立に向け準備を進めてきました。

今後は、財団法人の形で2008年度の設立を目指し、設立準備委員会を設置するなどし、設立へ向けた協議を行っていくこととしています。



▲会長挨拶を行う高野協議会会長

★議員会・女性会・青年部活動

★女性会

■女性会記念植樹

女性会（当時婦人会）の設立15周年を記念し、1986年に行って以来、今年で22回目となる女性会の記念植樹が去る5月30日、元町公園内において行われました。

当日は、天候にも恵まれ晴天のなか斉藤会長はじめメンバー20名、また、市土木部の秋田部長の参加もいただき、元町公園内の花壇へヒノデツツジ、リュウキユウツツジを植えました。



▲女性会記念植樹

★青年部活動

■銭亀沢地区青年部設立総会

本所銭亀沢地区青年部の設立総会が去る5月19日、わいわい亭において石田部長はじめ6名が出席し開催されました。

当日は、①青年部規約（案）について、②役員を選任について、③平成19年度事業計画（案）について、④平成19年度収支予算（案）について、以上4議案について審議し、いずれも了承されました。

新役員は下記のとおりです。

部長	石田 大樹	副部長	高橋 佳孝
副部長	長倉 邦春	理事	林 裕馬
理事	浅井 良憲	監事	佐々木喜正
監事	浅井 優行		



▲銭亀沢地区青年部設立総会

■本所青年部通常総会・懇親会

本所青年部の通常総会が去る5月31日、函館ハーバービューホテルにおいて河村会長はじめメンバー48名が出席し開催されました。

当日は「平成18年度事業報告並びに収支決算報告」「平成19年度事業計画及び予算案」などについて審議し、いずれも了承されました。

その後、平成19年度の各委員会方針について各副会長、委員長から説明がなれました。

また、総会終了後には、来賓として高野会頭、柳沢副会頭、斉藤女性会会長を囲んでの懇親会が行われ、フラダンス等の余興もあり、しばし和やかな雰囲気の中、盛會理に終了しました。



▲青年部通常総会

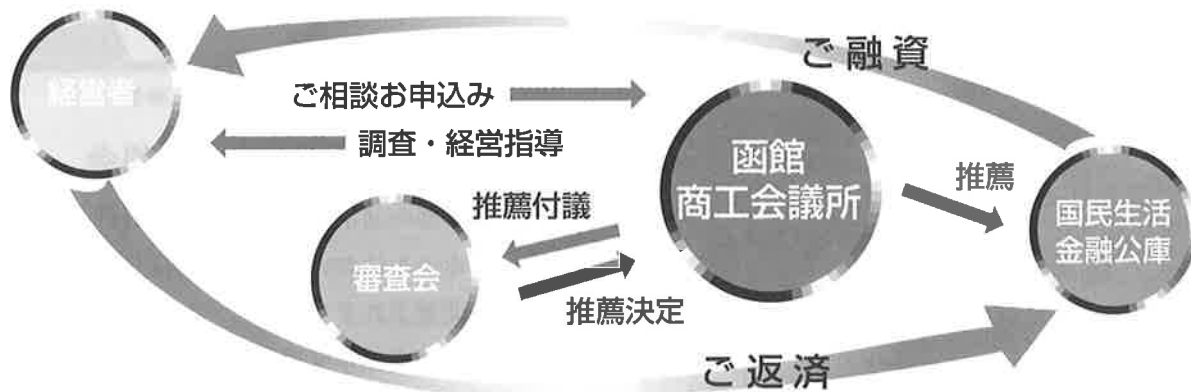
中小企業相談所 だより

金融	経営改善	税務
労務	法務	新規創業
取引照会	情報化	環境対策

どんな事でもお気軽に! 各種お申込・お問い合わせは
 函館商工会議所 TEL 0138-23-1181
 銭亀沢支所 TEL 0138-58-3057

無担保・無保証人 マル経資金 (小企業等改善資金)制度

マル経資金は、小企業等の事業者の経営改善を促進し、経営の健全化をはかるため、設けられたもので、商工会議所の経営指導と推薦により、国の金融機関である国民生活金融公庫から融資を受ける制度です。



■融資限度額 **550万円以内**

■利率 **2.20%** (平成19年6月2日現在)

融資の条件

- 融資期間………運転資金5年以内、設備資金7年以内 (据置6ヵ月以内を含む)
ただし平成20年3月31日まで
 - 担保・保証人………一切不要 (信用保証協会の保証も不要です)
- ※ただし、生活衛生関係業種 (飲食店、喫茶店、食肉販売、冰雪販売、理容、美容、興行場、旅館、浴場、クリーニング) の方は、運転資金のみで設備資金はご利用できません。

ご利用いただける方

- 常時使用する従業員の数が製造業では20人以下、商業・サービス業では5人以下。
(個人の家族従業員・法人の役員は除きます)
- 函館商工会議所地区内で1年以上引き続き事業を行っていること
- 従前 (原則として6ヵ月以前) から函館商工会議所の経営指導を受けていること
- 所得税、事業税、住民税について納期の到来している税金を全て完納していること

■本資金は、商工会議所内部の審査会により検討され、その後国民生活金融公庫へ推薦いたしますので、申込みから融資実行まで時間を要します。
 ご相談はゆとりをもってお早めにお問い合わせください。